

No.	頁	質問・意見	対応
1	2	P2のSDGSのマークは該当するものを強調して大きくすることはできないか。	対応しない。(SDGs自体の説明であるため。)
2	16	P16の住民一人当たりの利用回数を、高齢者一人当たりの利用回数にできないか。	対応しない。(福祉バス・乗合タクシーについては、利用する対象範囲が異なるためこのままとする。)
3	29	P29の将来の公共交通ネットワークについてゾーンバスと2方向を結ぶのはどうか。 JRと一畑電車、一畑バスの連携が必要だがうまくいっていない。 P39の待合環境の整備についてはやっていかななくてはいけない問題だと思っている。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
4	32	P32の準幹線、支線についても「役割」に観光客などの来訪者の移動を追記してほしい。施策13-2と一致させてはどうか。	準幹線・支線についても役割に観光客などの来訪者移動についてを追記する。
5	34	P34の見直し基準の設定根拠は。	実績値を参考に設定している。
6	34	環境整備等の利便性を向上すべきである。 市でそこを検証し、解決してから見直し基準を採用していただきたい。 この見直し基準は利便性の向上ではなく効率化を図るような文言にしか見えない。課題に取り組んだ後、検証し見直ししていただきたい。	路線の見直し基準については、これまでも路線の状況を客観的ににとらえるための指標として設定してきた。 今後も各路線の評価・検証をするために重要であり、他の事業と並行して実施していく。
7	36	P36の「鉄道の利用促進強化」について、利用客を増やすため、駅の魅力化、魅力アップを検討いただきたい。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
8	36	一畑電車を宍道湖西岸から空港までつなげることは無理か。	対応しない。(鉄道を開通させることは現実的に困難であるため。)

No.	頁	質問・意見	対応
9	36	空港連絡バスを雲州平田駅へ行くようにし、割引チケットを発行して、一畑電車で大社へ行くようなプラン（利用促進）を考えてはどうか。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
10	37	P37の「中心市街地形成エリアの利便性向上」ではバス路線の変更も考えているのか。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
11	38	P38について、具体的に乗合タクシーをどうしていくのか。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
12	42	P42 施策7-2で介助があれば公共交通を利用して外出できる人への支援で介助者が同乗しなければならないのか、運転手が介助するのか。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
13	46	P46の上段の「スマホ一つで利用できる公共交通システムの構築」はバスだけが対象か。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
14	46 42	I Cカードの導入を早期に実施できたらよい。 出雲市全体で運賃が公平であるように取組ができないか。	個別に計画を策定し事業を進めていく。
15		座談会のような各地区へ出向いて説明をされる考えはあるか。	対応しない。（協議会には各地域の代表者にも参加いただいているため。）
16		計画の5年間にはいろいろな意見・問題が出てくると思う。皆さんの意見を聞いて、柔軟な対応をしていただきたい。	P52のとおり協議会において、毎年度評価・検証することとしており、必要に応じて見直しを検討する。
17		地域の方々も頑張っている。地域の皆さんと相談して進めていただきたい。できるだけ地域に出向いていただきたい。	個別に計画を検討する際は、関係者（地域の方・事業者）と協議しながら進めていく。
18		J Aの福祉車両のふれあい号は、費用対効果の面から路線を減らさないといけない状況。支援をお願いしたい。	対応しない。（当該福祉車両は交通計画の対象から外れているため。）